

# 海馬



[海馬\\_下载链接1](#)

著者:池谷 裕二

出版者:新潮社

出版时间:2005-6

装帧:平装

isbn:9784101183145

## 出版社 / 著者からの内容紹介

「自分の頭は十分に使われていない」と感じたことはありませんか？ 頭をうまく使えなかったゆえに、損な目に遭ってしまったこと、ありませんか？ あなたの脳のチカラは生かされないまま眠っているかもしれません。どんな年齢であっても、「脳は使い尽くせる」と気づきさえすれば、才能はいくらでも伸ばすことができるのです。自分は「カシコくない」と思ってしまった人、必読です！！

内容（「BOOK」データベースより）

脳と記憶に関する、目からウロコの集中対談。いわく、「『もの忘れは老化のせい』は間違い」「30歳を過ぎてから頭は爆発的によくなる」一。記憶を司る部位である「海馬」をめぐる脳科学者・池谷裕二のユニークな発想と実証を、縦横無尽に広げていく糸井重里の見事なアプローチ。脳に対する知的好奇心を満たしつつ、むしろオトナの読者に生きる力を与えてくれる、人間賛歌に満ちた科学書。

作者介绍:

池谷 裕二

1970(昭和45)年、静岡県藤枝市生れ。’98(平成10)年、東京大学大学院薬学系研究科で薬学博士号取得。2002年から約2年半のコロンビア大学生物学講座博士研究員を経て、東京大学薬学部助手。

糸井 重里

1948(昭和23)年、群馬県生れ。’75年TTC(東京コピーライターズクラブ)新人賞受賞。’80年代に「不思議、大好き」「おいしい生活」などの名コピーで一世を風靡。コピー制作、作詞、ゲーム制作、文筆など幅広い分野で活躍し、’98(平成10)年には「ほぼ日刊イトイ新聞」をインターネット上に開設した。

目録: 第1章 脳の導火線(生きることに慣れてはいけない  
頭のいい人って、自分の好きな人のことかも? ほか)  
第2章 海馬は増える(脳は「べき乗」で発展  
科学者が海馬に惹かれる理由 ほか)  
第3章 脳に効く薬(ものを忘れさせる薬  
頭が良くなる薬は、あることはある ほか)  
第4章 やりすぎが天才をつくる(一〇〇〇億の細胞からつながる相手を選ぶ  
受け手が主導権を握る ほか)  
追加対談 海馬の旅(誤解を招く=魅力がある  
目的はひとつに決めない ほか)  
．．．．． (收起)

[海馬 下载链接1](#)

标签

评论

对一些通俗现象作出的解释很有趣...不过我还是觉得根本是两个人在那吹悬龙门阵...很多观点仔细想想破绽百出。

-----  
视觉盲点有意思，但看久了有点晕。p79のある作家应该是井上ひさし。

-----  
[海馬 下载链接1](#)

书评

-----  
[海馬 下载链接1](#)